


益田市の社協だより

Vol.273
2023年10月号

はぁてい

Hearty

 この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

4年ぶりの

サマーボランティアスクール開校!



益田市社会福祉協議会

本 所 〒698-0036 益田市須子町3-1 TEL: 22-7256 FAX: 23-4177
美都支所 TEL: 52-2392 FAX: 52-2716 / 匹見支所 TEL: 56-0374 FAX: 56-0387

町を しくみ。

眠っている1円玉貯金は ありませんか……？

今は小銭の入金にも手数料がかかる時代になりました。もし、おうちに眠ったままの1円玉があったら、地域の福祉のために役立ててみませんか？



始まります！

市民の皆様のあたたかいご支援のおかげをもちまして

ために使われています。

福祉事業を行います。主なものは次の通りです。

ども食堂運営サポート」(たかつ子ども食堂)「障がい者卒業後の市重度身障障害児者親の会」「(高齢者や障がい者と学生ボランティアの事業) (市青少年育成市民会議)「福祉教育推進事業、地域福祉活動議会)「友愛メール事業」(同美都支所)「安心宅配サービス匹見

令和5年度版 新しい缶バッジが登場しました♪



益田水郷祭



(西益田)灯火祭



(美都)ゆずき



(匹見)わさまる



(島根県)しまねっこ



皆様の長年に渡るご支援に心より御礼申し上げます。

何十年も前から益田市のさまざまな店舗や市民の方たちに赤い羽根共同募金にご協力をいただいておりますこと、深く感謝いたします。今回は昔の写真のごく一部を皆様にもご紹介いたします！



サンブラザ
マルシン



つるや



キヌヤ
本店



キヌヤ
本町店

じぶんの 良くする

今年も10月1日（日）から全国一斉に**赤い羽根共同募金**が益田市でもたくさんの店舗やボランティアの方たち、そして何より毎年さまざまな福祉活動に役立てさせていただいています。

皆様から寄せられた募金の約70%は、益田市を良くするしくみの令和6年度は、市内の17団体が共同募金の助成金を受けて、31の

「益田市障がい者スポーツ大会」（市身体障害者福祉協会）「子支援・療育勉強会」（WISH）「重症児者日中活動充実事業」（益田クリスマス交流会）（ファイブハーツ）「青少年健全育成活動支援助成事業、サマー・ボランティアスクール事業」（益田市社会福祉らくらく便）（同匹見支所）など。

令和5年度目標額

一般募金目標額

14,000,000 円

歳末たすけあい募金目標額

4,786,000 円

赤い羽根データベース **はねっと**



みなさまから寄せられた募金がどのように使われているか興味はありませんか？

赤い羽根データベース「はねっと」では、皆様から寄せられた募金の使いみちを確認できます。



益田市社協

あんしん生活支援センター

「困った…」を誰にも相談できない方へ



益田市社協
あんしん生活支援センター
へご相談ください！

お問い合わせ・ご予約

フリーダイヤル:0120-062-301 (月～金 8:30～17:30)
TEL:22-7256/FAX:23-4177 〒698-0036 益田市須子町3-1
(益田市総合福祉センター内)

令和6年度の「教育支援資金、就学支度費」の貸付事業の募集を開始します。

●「教育支援資金、就学支度費」とは、低所得世帯で、高等学校や大学または高等専門学校に就学するために必要であると見込まれる資金に対する貸付です。詳しくは上記連絡先までお問い合わせください。

※制度を利用するには審査があります
※他制度が優先されます。(日本学生支援機構、母子父子寡婦福祉資金、島根県育英会奨学金等)
※申込には貸付要件を満たしている必要があります。

教育支援費 (就学するのに必要な経費)

貸付限度額		据置・返済期間	内容
高校(専修学校高等課程含む)	月額35,000円以内	卒業後6ヵ月以内 20年以内に返済	<例> 授業料、施設設備費、 後援会費、PTA会費、 学年会費、教材費、通 学費、家賃、寮費等
高等専門学校	月額60,000円以内		
短期大学(専修学校専門課程含む)	月額60,000円以内		
大学	月額65,000円以内		

※特に必要と認められる場合に限り、貸付上限額の1.5倍の額まで貸付可能

就学支度費 (入学に際し必要な経費)

貸付限度額	据置・返済期間	内容
500,000円以内	卒業後6ヵ月以内 20年以内に返済	<例> 入学金、後援会入会費、PTA入会金、制服、カバン、 靴、通学用自転車、電子辞書、パソコン等



10/11
(水)

福祉公開講座

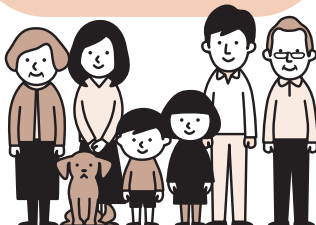
こころのサインに気づいたら ～ゲートキーパー養成研修～

13:30～15:30

「ゲートキーパー」とは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことで、「命の門番」とも言われています。特別な資格などは必要ありません。

益田市社協 あんしん生活支援センターの相談日

どんなことでも、
まずはご相談ください。
いっしょに考え、解決への
お手伝いをいたします。



無料法律相談
時間:13時～15時

10月13日(金)
谷川 円 弁護士

※都合により変更になる場合もあります

ふれあい福祉相談
時間:10時～15時

10月13日(金)

老人・ひとり親相談
時間:10時～15時

10月13日(金)・27日(金)

令和5年度 益田市社会福祉法人連絡会総会を開催しました



「益田市社会福祉法人連絡会」役員一覧

役職名	法人名	氏名
会長	益田市社会福祉協議会	末成 弘明
副会長	梅寿会	大畑 國男
副会長	石見横田福祉会(益田市認可保育所理事長会会長)	村穂 孝彦
幹事	希望の里福祉会	橋本 清
幹事	はびねす福祉会	豊田 英幸
幹事	暁ほほえみ福祉会(益田市認可保育所理事長会副会長)	山根 崇徳
幹事	小野保育所(益田市認可保育所理事長会幹事)	伊藤 近徳
監事	西益田福祉会	杉原 寛臣
監事	高津福祉会(益田市認可保育所理事長会事務局)	松尾 伸

7月6日、令和5年度 益田市社会福祉法人連絡会総会及び研修会を開催しました。益田市内29の社会福祉法人で作られた社会福祉法人連絡会は、高齢・障がい・保育の枠を越え、今よりもっと地域に寄り添った貢献ができるよう、これまで培ってきた経験や連絡会のネットワークを駆使して、これからも様々な福祉活動に努めてまいります。

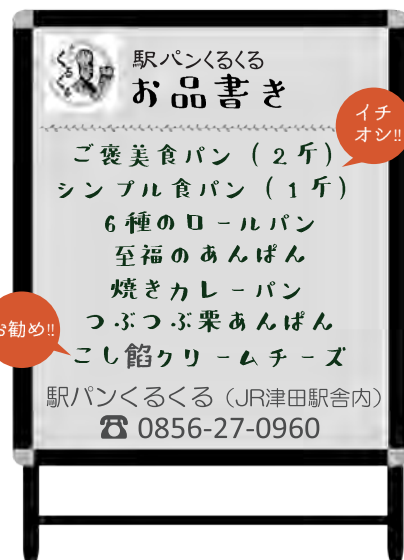
善意の輪

(令和5年6月1日～令和5年7月31日) 敬称略

ご寄附ありがとうございます。地域福祉活動事業費や、福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。

【香典返し】	【香典返し】	【香典返し】
村上 太 白岩町 金一封	(故) 坂本 澄江 須子町 金一封	(故) 川本ヤス子 下本郷町 金一封
(故) 大石 正一 隅村町 金一封	梅田 信男 西平原町 金一封	寺戸 学 匹見町瀧川 金一封
(故) 和崎 敏子 須子町 金一封	(故) 大石 靖子 久城町 金一封	土井 誠祐 匹見町道川 金一封
(故) 大佐古ツタエ 神田町 金一封	(故) 田原 良子 西平原町 100,000円	【一般寄附福祉事業へ】
(故) 石橋卯三郎 安富町 金一封	須山 淳一 横浜市 金一封	
(故) 新井 涉 戸田町 金一封	匿名 須子町 金一封	ボランティアグループ 27,825円
松崎 雄三 遠田町 金一封	(故) 市村 光子 高津一丁目 金一封	
中井 彩華 乙吉町 金一封	(故) 平谷 啓介 波田町 金一封	

安田 おいしい駅パンで地域貢献！！



安田地区の地域自治組織である『(一社)安田地域づくり協議会』では、草刈や庭木剪定を行う「地域お助け隊」や地物などを販売してくれる「やすだ村ええもん市」など様々な事業を行っています。

その中でも他の地域にはない独自の取り組みとして「パンカフェ運営」事業があり、津田駅舎を利用した地域に根ざしたパン屋さん『駅パンくるくる』からは、今日も焼き立てパンの香ばしい匂いが漂ってきます。

地域の中での居場所づくりや交流の場を目的として作られたパンカフェですが、焼き立てパンが手に入りやすい地域へは移動販売にも出かけるなど、地域の食支援にも力を入れています。安田地区に来られた際には津田駅へも立ち寄って、また各地域の公民館等での移動販売も行っていますので、美味しい駅パンを是非みなさんも味わってくださいね。

(東部圏域生活支援コーディネーター 河上)

高津 こころ・つながる「ありがた市」



8月24日(木)高津公民館で「ありがた市」が開催されました。

この取り組みは高津地域自治組織『万葉の里高津未来の会』の林会長が、買物をするお店が無くなって困っている方の助けになればと始めたことがきっかけで、今回が4回目の開催となります。

来場者はやはり高齢者が多く、歩いてくる人や家族や友達の車に乗せてもらって来る方もおられます。会場にはローソンの移動販売車や地元で採れた野菜、地元商店のお豆腐やお寿司、あんぱんが並んでおり、とても賑わっていました。

この日、ありがた市に訪れた人たちの輪から「話しながら買い物ができるのは楽しいね」「いろんな物が買えていいね」と明るい笑顔で話しているのが聞こえてきていました。

地域にとって必要なのは買物支援だけではなく、人がつないでいくこの「笑顔の支援」なのではないかなと感じた一日でした。

(西部圏域生活支援コーディネーター 鍛冶畑)

美 都 健康教室と温泉で頭と心をリフレッシュ♪



美都温泉「湯元館」では、地域の方や入浴される方を対象に、健康教室を開催しています。令和2年度からは、益田市の担当保健師と一緒に生活支援コーディネーターも企画や周知、開催当日のお手伝いをさせていただいており、令和4年度からは、公民館や各地区の健康づくりの会にも協力をいただいて、様々な関係機関が協力して開催しています。

今年度の第2回は、リハビリテーションカレッジ島根で言語聴覚士として活躍する青木 耕先生をお招きして、口腔機能の低下によるリスクや誤嚥の予防について教えていただきました。

これからも地域のつどいの場のひとつとして、美都地域で暮らす方々の更なる健康増進を目指し、みんなでアイデアを出し合いながら、開催していきたいと思っています。

(美都圏域生活支援コーディネーター 田村)

＜お問い合わせ＞

美都温泉「湯元館」(定休日:水曜日) URL: mito-onsen.com/
益田市美都町宇津川口630-3
電話 (0856) 52-2100 / FAX (0856) 52-3668



※障害者手帳をお持ちの方は半額で入浴できます(介助者を含む)



二川地区にベンチを設置しました

益田市共同募金委員会より助成を受け、令和5年度事業として二川地区にベンチを設置しました。これは、二川公民館の小原館長より、「待ち合わせ場所に座って休むベンチがあるといいんだけど」という相談をいただいて、社協美都支所が共同募金委員会に助成申請を行って実現したものです。

購入したベンチは、旧二川公民館の入口に設置されました。

待ち合わせやちょっとした休憩に、また、みなさんの情報交換の場として、今後たくさんご活用いただけたら嬉しく思います。

(美都圏域生活支援コーディネーター 田村)



匹見 道川仏教婦人会 ボランティア活動



7月6日(木)道川仏教婦人会のみなさまが特別養護老人ホーム もみじの里へボランティア活動に来てくださいました。長年にわたり、入居の方の衣類のボタン付け直しなど、繕い物ボランティアに来ていただいています。今回は車イスや歩行器の清掃もしていただきました。きれいになった車イスで気持ちよく過ごされています。誠にありがとうございました。

(匹見圏域生活支援コーディネーター 柴田)

ますだボランティア情報 No.58

サマーボランティアスクール 2023

～ 出 会 い ・ ね れ あ い ・ i n S u m m e r ～



この夏、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、お休みしていたサマーボランティアスクールを4年ぶりに開校しました！

7月31日(月)～8月10日(木)まで、市内にある21施設(高齢者・障がい者・保育)の協力のもと、5つの中学校と4つの高等学校から49名の学生が参加し、それぞれの施設の利用者さんたちと触れ合ったり、施設の職員の方たちの仕事を手伝ったりとさまざまなボランティア活動を体験しました。

参加された生徒の皆さんは、普段の暮らしの中では経験できないことをたくさん学べた夏になったのではないかと思います。この経験を活かし、これから先も地域やたくさんの人たちと色々なことにチャレンジしていきましょう！！

